

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-051322

(43)Date of publication of application : 15.02.2002

(51)Int.Cl.

H04N 7/173

G06F 12/00

G06F 17/30

G06T 1/00

(21)Application number : 2000-231788

(71)Applicant : SONY CORP

(22) Date of filing : 31.07.2000

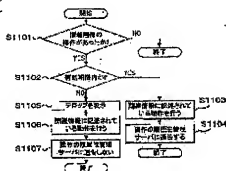
(72)Inventor : KAWAGUCHI KUNIO

(54) UTILIZATION SYSTEM, PROCESSING DEVICE, GENERATING DEVICE, PROVIDING  
DEVICE OF INFORMATION IMAGE AND PROGRAM RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To prevent unnecessary traffic by giving expiration date to an information image.

**SOLUTION:** This utilization system of information images is based on making an information provider (112) register an information image, into which the information image and the relevant information that leads an operator to cause a prescribed behavior, based on the information image, are formed as a unit for processing, to an information disclosing server (114) and to guide a client (120) connected via a network (130) based on the information image. According to such a constitution, giving expiration date to information image enables control of the expired information images and prevent unnecessary traffic.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's]

| (51) Int.Cl. <sup>7</sup> | 識別記号  | F I           | チ-ツ-ド <sup>7</sup> (参考) |
|---------------------------|-------|---------------|-------------------------|
| H 0 4 N 7/173             | 6 1 0 | H 0 4 N 7/173 | 6 1 0 A 5 B 0 5 0       |
| G 0 6 F 12/00             | 5 1 5 | G 0 6 F 12/00 | 5 1 5 M 5 B 0 7 5       |
| 17/30                     | 1 7 0 | 17/30         | 1 7 0 A 5 B 0 8 2       |
| G 0 6 T 1/00              | 2 0 0 | G 0 6 T 1/00  | 2 0 0 A 5 C 0 6 4       |

審査請求 未請求 請求項の数18 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2000-231788(P2000-231788)

(22) 出願日 平成12年7月31日 (2000.7.31)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 川口 邦雄

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

(74) 代理人 100101557

弁理士 萩原 康司

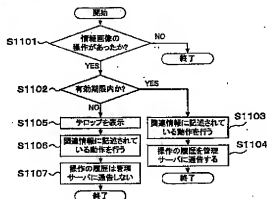
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報画像利用システム、情報画像処理装置、情報画像生成装置、情報画像提供装置およびプログラム記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 情報画像に有効期限を持たせ、無用なトラブルの発生を回避する。

【解決手段】 情報提供者(112)に、画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を情報公開サーバ(114)に登録させ、前記情報画像に従ってネットワーク(130)を介して接続されたクライアント(120)を前記情報提供者の所望する情報に誘導する情報画像利用システムにおいて、情報画像に期限情報を持たせる。かかる構成により、期限切れの情報画像の動作を制限することが可能となり、無用なトラブルを回避できる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報提供者に、画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を情報公開サーバに登録させ、前記情報画像に従ってネットワークを介して接続されたクライアントを前記情報提供者の所望する情報に誘導する情報画像利用システムにおいて、前記情報画像は、期限情報を備えていることを特徴とする情報画像利用システム。

【請求項2】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作を禁止するものであることを特徴とする、請求項1に記載の情報画像利用システム。

【請求項3】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作に関する情報の前記情報画像の管理サーバに対する報告を禁止するものであることを特徴とする、請求項1に記載の情報画像利用システム。

【請求項4】 画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像をクライアントにおいて表示及び操作可能にする情報画像処理装置において、前記情報画像が期限情報を備えている場合には、期限切れの情報画像の操作を禁止することを特徴とする、情報画像処理装置。

【請求項5】 画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像をクライアントにおいて表示及び操作可能にする情報画像処理装置において、前記情報画像が期限情報を備えている場合には、期限切れの情報画像の操作に関する情報の前記情報画像の管理サーバに対する報告を禁止することを特徴とする、情報画像処理装置。

【請求項6】 画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を生成する情報画像生成装置であって、前記情報画像に期限情報を組み込むことが可能なことを特徴とする、情報画像生成装置。

【請求項7】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作を禁止するものであることを特徴とする、請求項6に記載の情報画像生成装置。

【請求項8】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作に関する情報の前記情報画像の管理サーバに対する報告を禁止するものであることを特徴とする、請求項6に記載の情報画像生成装置。

【請求項9】 クライアントからの要求に応じて、画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像をクライアントに提供する情報画像提供装置であって、前記情報画像のクライアントへの提供時に、前記情報画像に期限情報を付加することを特徴とする、情報画像提供装置。

【請求項10】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作を禁止するものであることを特徴とする、請求項9に記載の情報画像提供装置。

【請求項11】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作に関する情報の前記情報画像の管理サーバに対する報告を禁止するものであることを特徴とする、請求項9に記載の情報画像提供装置。

【請求項12】 クライアントをして、請求項4に記載の情報画像処理装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項13】 クライアントをして、請求項5に記載の情報画像処理装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項14】 コンピュータをして、請求項6に記載の情報画像生成装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項15】 コンピュータをして、請求項7に記載の情報画像生成装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項16】 コンピュータをして、請求項8に記載の情報画像生成装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項17】 コンピュータをして、請求項9に記載の情報画像提供装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項18】 コンピュータをして、請求項10に記載の情報画像生成装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットなどのネットワークを介して相互接続されたコンピュータなどの情報処理装置間において行われる情報操作に関する。詳細には、本発明は、画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とをひとつの取り扱い単位とした「情報画像」を介して行われる情報画像利用システム等に関する。

【0002】

【従来の技術】近時、インターネットを介して接続された不特定多数の情報公開サーバから提供される情報の量は莫大なものとなっている。ユーザは、インターネットに接続されたパーソナルコンピュータなどの情報端末装置を操作して所望の情報公開サーバにアクセスし、所望の情報を得ることができる。このようなインターネットを介して実現される、いわゆるWWW(World Wide Web)環境において、情報提供者であるサーバサイドにとっては、自分の提供する情報にいかにか多くのユーザを効率的に誘導することが問題である。

【0003】インターネット上でのユーザの誘導方法として、画像ファイルなどに情報公開サーバのアドレスが

関連付けられたボタン、例えばバナー広告などが知られている。ユーザは、バナー広告に対してクリックなどの特定の操作を行うことにより、URLなどの文字列を入力するような煩雑な操作なしに、簡単に所定の情報に誘導される。しかし、かかるバナー広告は、単にボタンに関連付けられた個別の情報先にユーザを誘導できるに過ぎず、またボタンの管理も困難なことから、最近では、より効果的にユーザを誘導する方法として、画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とをひとつの取り扱い単位として処理する、いわゆる「情報画像」を用いる方法が提案されている(例えば、特開2000-083291)。

【0004】この情報画像は、複数の動作をひとつの画像で代表させて一括して取り扱うことが可能であり、ユーザを複数の情報に選択的に誘導したり、複数の情報を群として管理してその群に対してユーザを誘導したりできるので、情報提供者にとっては、非常に有効なユーザ誘導手段となり得る。さらに、情報画像は、画像情報を画像ファイルとして単独で存在させるのではなく、画像情報と関連情報とをひとつの取り扱い単位として存在させるので、画像情報の管理が容易で、例えば、ユーザサイドでの利用状況を追跡管理することも可能である。

【0005】かかる情報画像を用いることにより、情報提供者はより多くのユーザを自分の情報に誘導することが可能となる。例えば、情報提供者がある商品の販売業者である場合には、情報画像を用いて商品に関するさまざまな情報を利用して消費者であるユーザにアピールすることにより、競争業者の商品との差別化を図り、商品の販売戦略を有利に進めることが可能となる。さらに、上記のような画像情報の利用状況の追跡管理を併用すれば、情報提供者にとっては、顧客の動向を反映する貴重なマーケティング情報を得ることも可能となる。

【0006】このように情報画像は、高い経済的付加価値を有するものであるため、情報提供者にとっては、例えば有料であっても情報画像を利用して、ユーザを所望する情報に誘導して、自己のビジネスを有利に展開していきたいというニーズが存在する。

【0007】【発明が解決しようとする課題】しかしながら、情報提供者が情報画像を介して提供する情報の内容は、適宜変更されるものである。したがって、情報画像に付帯する関連情報に基づく操作をいつでも許可しておく、情報提供者が所望しない情報にユーザを誘導してしまうおそれがあり問題であった。

【0008】また、システムによっては、クライアント側において情報画像が操作された場合に、その操作ログを管理サーバ側において管理する場合がある。しかし、すでに管理不要になった情報画像に関する操作ログまでもが管理サーバに通知されたものでは、無用なトラフィックが生じ、システムに過度の負荷をかけるおそれがある問題であった。

り問題であった。

【0009】本発明は、情報画像を利用する環境が有する上記問題点に鑑みて成されたものであり、情報画像に期限情報を持たせることにより、ユーザを不要な情報に誘導したり、無用なトラフィックを生じさせたりすることのない新構成で改良された情報画像利用システム等を提供することを目的としている。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明の第1の観点によれば、情報提供者に、画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とをひとつの取り扱い単位とした情報画像を情報公開サーバに登録させ、前記情報画像に従ってネットワークを介して接続されたクライアントを前記情報提供者の所望する情報に誘導する情報画像利用システムにおいて、前記情報画像は、期限情報を備えていることを特徴とする情報画像利用システムが提供される。

【0011】かかる構成によれば、情報提供者が意図した期限を越えた情報画像の操作を制限し制御することが可能である。例えば期限情報を期限切れ情報画像の操作を禁止するものとして構成すれば、情報提供者側の意図に反してユーザを誘導するような事態を回避できる。また例えば期限情報を期限切れ情報画像の操作に関する情報の前記情報画像の管理サーバに対する報告を禁止するものとして構成すれば、無用なトラフィックの発生を回避できる。

【0012】ここで、「情報提供者」は、所望の情報にユーザを誘導するように情報画像を生成し、ネットワークその他の手段を介して情報公開サーバに宛てその情報画像を登録することが可能なコンピュータなどの情報端末である。例えば、インターネットを介して商品に関する情報を提供して、その商品を購入しようとする商品販売業者が所有する情報端末などが相当する。

【0013】「画像情報」は、例えばファイル名や内部に埋め込んだ識別情報などの画像特定情報に基づいて特定可能なされたものであって、クライアントである情報表示装置に画像として表示されるように作用するものである。

【0014】「情報画像」は、画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とをひとつの取り扱い単位としたもので、ネットワーク上の伝送等の作業が単一の取り扱い処理で実現できるようにになっているものである。なお、「操作者」は、端末上で画像情報を操作する者であり、情報画像処理手段を使用する登録ユーザ本人であっても、また他人であっても構わない。また、「所定の動作」には端末において実現可能なあらゆる情報処理が含まれる。例えば端末を複数の情報に選択的に誘導したり、一つの群として管理されている情報に対して端末を並列的に誘導したりする動

作も含まれる。そして「関連情報」には、これらの動作のプログラムの設定に加えて、該情報画像を提供した情報提供者に関する情報や、後発的に付加可能な該情報画像のユーザに関する情報など、各種情報が含まれる。

【0015】「情報公開サーバ」は、例えば登録された情報画像が閲覧可能なサイトであり、ネットワークを介して当該サイトにアクセスしてきた端末に当該情報画像その他の情報の提供を行うように作用するものである。

【0016】「クライアント」は、いわゆる情報端末装置、情報表示装置、あるいは単に端末などと呼ばれるものであり、例えばパーソナルコンピュータや携帯情報端末や情報端末機能を有する家電などを含み、少なくとも情報画像処理手段を組み込んで情報画像を表示・操作することが出来る機能を有するものである。

【0017】「期限情報」は、情報画像に期限を付したように構成するものであり、その期限経過後に、情報画像にある動作をさせたり、あるいはある動作をさせなかったりすることができる。もちろん単に期限に関する記述として記載してもかまわない。なお、期限情報は、情報画像の関連情報と一体的に組み込むように構成しても構わないし、あるいは画像情報や関連情報とは別の構成として組み込んだり、関連付けなくても構わない。また期限情報は、後述するように情報画像生成装置において情報画像を生成する際に情報画像に組み込むように構成してもよいし、あるいは、情報画像提供装置がクライアントに情報画像を提供する際に情報画像を組み込むように構成してもよい。

【0018】「管理サーバ」は、ネットワークを介して端末に接続されたコンピュータなどのサーバ装置であり、クライアントから送信された情報画像の操作に関する情報を管理する機能を備えている。この管理サーバは情報公開サーバ・同一のものとして構成しても良いし、別のものとして構成しても良い。

【0019】さらに上記課題を解決するために、本発明の第2の観点によれば、情報画像が上記のような期限情報を有している場合に、クライアントにおいて期限情報に指示される処理をすることが可能な情報画像処理装置が提供される。

【0020】ここで、上記第1の観点にかかる発明において説明した構成に加えて、「情報画像処理手段」は、例えば、ユーザが端末に組み込むことにより、情報画像を端末において表示および操作可能なように構成する情報画像支援プログラムであり、ウェブページ上に情報画像専用ウィンドウを表示して情報画像を表示および操作するように構成してもよいし、あるいはウェブ閲覧ソフトウインドウ上のプラグインソフトとしてウェブ閲覧ソフトウインドウ上で情報画像を表示および操作するように構成してもよいし、さらには、バックグラウンドで動作してデスクトップ画面上で情報画像を表示および操作するように構成してもよい。

【0021】さらに、上記課題を解決するために、本発明の第3の観点によれば、上記のような期限情報を含む情報画像を生成するための情報画像生成装置が提供される。

【0022】ここで、上記においてすでに説明した構成に加えて「情報画像生成装置」は、コンピュータなどの情報処理装置において、画像情報と、操作者によって該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とを合成してひとつの取り扱える単位としてまとめる機能を有するものである。本発明にかかる情報画像生成装置は、期限情報を関連情報に一体的に組み入れるように構成してもよいし、あるいは関連情報とは別体の情報として組み入れるように構成してもよい。

【0023】さらに上記課題を解決するために本発明の第4の観点によれば、クライアントからの要求に応じて情報画像をクライアントに提供する際に、情報画像に対して期限情報を付加する機能を有する情報画像提供装置が提供される。

【0024】ここで、上記においてすでに説明した構成に加えて「情報画像提供装置」は、コンピュータなどの情報処理装置において、例えばクライアントからの要求に応じて、クライアントに対して情報画像を提供することが可能な機能を有するものであり、上記の情報画像公開サーバなどの一体的に構成することも可能である。本発明にかかる情報画像提供装置は、情報画像のクライアントへの提供時に、期限情報を関連情報に一体的に組み入れるように構成してもよいし、あるいは関連情報とは別体の情報として組み入れるように構成してもよい。

【0025】さらに、本発明の第5の観点によれば、第2の観点にかかる情報画像処理装置をクライアントにおいて実現したり、あるいは第3の観点にかかる情報画像生成装置をコンピュータにおいて実現したり、さらには第4の観点にかかる情報画像提供装置をコンピュータにおいて実現したりするためのプログラムを保持するプログラム記録媒体が提供される。

【0026】本発明の他の構成および特徴については、以下に説明する実施の形態および添付図面において明らかにされる。

【0027】

【発明の実施の形態】以下に、添付図面を参照しながら、本発明にかかる情報画像利用システム等の好適な実施形態について詳細に説明する。なお、以下の説明および添付図面において、略同一の機能・構成を有する構成要素については、同一の符号を付することにより重複説明を省略することにする。

【0028】(情報画像利用システムのシステム構成) ます、図1を参照しながら本実施の形態にかかる情報画像利用システムのシステム構成について説明する。図示のように、本情報画像利用システム100は、情報提供者としての情報画像生成サーバ112と、情報画像公開

サーバとしての情報画像提供サーバ114と、情報画像管理サーバ116と、本実施の形態にかかる情報画像処理装置を組み込んで第1管理領域122と第2管理領域124とを表示可能なクライアント120(120-1, 120-2, ..., 120-n)とを双方向通信可能なインターネットなどのネットワーク130により接続した構成を採用している。

【0029】ネットワーク130を介してやり取りされる情報は、主に情報画像であり、情報画像を介して誘導される各種情報であり、情報画像をクライアント側で利用可能にする情報処理装置であり、さらに情報画像に付帯される期限情報およびクライアントにおける情報画像の操作情報などであるが、これらの詳細については後述する。

【0030】情報画像生成サーバ112は、コンピュータなどの情報処理装置であって、後述するように、画像情報と、操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とを合成してひとつの取り扱い単位としてまとめる機能を有するものである。なお、期限情報については、ある実施形態によれば、この情報画像生成サーバ112において情報画像を作成する際に、情報画像提供装置によって情報画像の中に組み入れられる。

【0031】情報画像提供サーバ113も、コンピュータなどの情報処理装置であって、例えば登録された情報画像が閲覧可能なように構成された情報画像公開サーバとして構成される。ネットワーク130を介してこの情報画像提供サーバ113にアクセスしてきたクライアント120に対して情報画像その他の情報を提供するように作用する。またある実施形態によれば、クライアント120が情報画像を表示及び操作するために必要な情報画像処理装置としての情報画像支援プログラムを所有していない場合には、情報画像提供サーバ113は情報画像処理装置の提供サーバとしても機能する。さらにある実施形態によれば、この情報画像提供サーバ113からクライアント120に対して情報画像が発信される際に、期限情報を情報画像に組み入れるように構成することも可能である。

【0032】情報画像管理サーバ116は、ネットワークを介して端末に接続されたコンピュータなどのサーバ装置であり、情報画像処理装置のユーザに関する情報や、各クライアントにおける情報画像の操作情報などを管理する機能を有している。さらに、ある実施形態においては、クライアントからの要求に応じて情報画像処理装置を提供したり、情報画像処理装置提供の対価としてクライアントから送信されたユーザに関する情報を管理する機能を備えている。さらに、ある実施形態においては、ユーザ情報や情報画像の操作情報を管理して、所定の課金処理を行う機能を有している。

【0033】なお、図示の例では、情報画像生成サーバ112、情報画像提供サーバ114、情報画像管理サーバ

サーバ116は、それぞれ別体のハードウェアとして構成されているが、システムの構成によっては、任意の組合せで共通のハードウェアとして構成することも可能である。

【0034】クライアント120(120-1~120-n)は、いわゆる情報端末装置であり、少なくとも情報画像処理手段を組み込んで情報画像を表示し操作することが可能な機能をもつものである。より具体的には、クライアントには、例えばパーソナルコンピュータや携帯情報端末や情報端末機能を有する家電などが含まれる。

【0035】ネットワーク130は、インターネットに代表されるように、所定のプロトコルに応じてフォーマットされた情報データを双方向に流通させることが可能なように構成されている。なお本実施の形態においては、ネットワーク130は公衆に対してオープンに構成されたインターネットであるが、システムの構成によっては、LAN、あるいはWANなどのクロスマルチの構成とすることも可能である。

【0036】(2. 情報画像の構造) 次に、図1に示す情報画像利用システムにおいて中心となる役割を演ずる情報画像の構造について詳細に説明する。

【0037】本実施の形態において取り扱う「情報画像」とは、画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす関連情報とをひとつの取り扱い単位としたもので、ネットワーク130での伝送等の作業が単一の取り扱い単位として処理できるようになっているものである。

【0038】このように、情報画像は、(1) 画像情報と関連情報とから構成されていること、(2) 画像情報と関連情報とがひとつの取り扱い単位として処理可能であることを大きな特徴としている。

【0039】(2.1. 画像情報) 「画像情報」は、例えば、ファイル名や内部に埋め込んだ識別情報などの画像特定情報に基づいて特定可能なされたものであって、クライアントである情報表示装置に画像として表示されるように作用するものであり、より具体的にはGIF形式、JPG形式、PCX形式などの各種形式を採用した画像に関するデータストリームである。

【0040】(2.2. 関連情報) 「関連情報」とは、端末の操作者をして、画像情報を手探りによって特定の動作をさせたい場合における基礎となる情報である。すなわち関連情報は、情報画像若しくは画像情報と関連づけられた情報であって、例えば、端末の操作者に特定のサーバにある情報を参照させたい場合には、その情報を特定する情報(URLやIPアドレスなど)がこれにあたる。また、特定のプログラムを動作させたい場合には、そのプログラム名やプログラムそのものとしても構わない。例えば、新たな画像情報をサーバから取得するなどの指示情報とすることができ、

【0041】以上のような構成をとる画像情報と関連情報とをひとつの取り扱単位として処理できるようにするために、本実施の形態によれば、以下に説明するような手法を用いて、特定の画像情報に対して関連情報やその他の情報を埋め込むことができる。

【0042】(2.3. 情報が入り込められた画像情報の構成) 関連情報が内包された情報画像の構成について図2および図3を用いて説明する。なお、画像情報に内包される情報としては、例えば、関連情報やその画像を特定するための識別子とすることができ。

【0043】図2は関連情報を埋め込んだ情報画像のフォーマットを例示した図である。

【0044】ここで、画像情報は、GIFフォーマットの画像を例にとっている。なお、画像データのフォーマットについてはGIF形式をとらずとも、JPG形式やPCX形式などを探って構わない。

【0045】開始部201は、本情報がGIF形式の画像情報であることを識別するために設けられたフィールドであり、'GIF'なる文字列ならびにそのバージョンが割り当てられたものである。

【0046】配色表式画像データ203は、所定の要素が左から右、上から下の順序で配列された画像データである。ここで、GIFの場合、可変長符号のZWアルゴリズムを使って符号化される。

【0047】注釈拡張部205は、GIFデータストリーム中のグラフィック情報を構成しない文章情報を含んでいる。ここには、グラフィックや製作関係者名や内容説明に関する注釈、あるいは、その他の制御情報やグラフィックのデータでない類の情報など全ての情報を含めることができるようになっている。

【0048】終了部206は、開始部201から開始された一連のデータストリームが終了したことを示し、他のパラメータ情報などがこの後に続くことを意味するようになっている。

【0049】開始部201と配色表式画像データ203の間202および配色表式画像データ203と注釈拡張部205の間204には、上記情報以外の情報を含ませることができる。例えば、画面幅、画面高さ、色解像度など、これらに描画する画像に必要な表示装置の仕様を定義するパラメータを含んだ情報を割り当てることができる。

【0050】関連情報207は、上記注釈拡張部205にそのまま、若しくは暗号化などの処理を施した後に配置され、ひとつの画像情報としてまとめることになる。これにより、結果として、データストリームとしての画像情報は、その内部に関連情報や識別子を含むことができるようになる。

【0051】期限情報208は、後述するようにこの情報画像の有効期限を規定する情報であり、期限経過後には、情報画像の操作を不許可とし、あるいは情報画

像の操作ログの管理サーバへの報告を無効とし、あるいは期限経過後にはじめてある所定の操作が可能になるように規定したりすることが可能である。この期限情報208も関連情報207と同様に、上記注釈拡張部205にそのまま、若しくは暗号化などの処理を施した後に配置され、ひとつの画像情報としてまとめることになる。これにより、結果として、データストリームとしての画像情報は、その内部に関連情報や識別子を含むことができるようになる。

【0052】これらの説明はすべてGIFフォーマットで行ったが、他のフォーマット形式の画像形式であっても、このように画像情報と分離された領域に記憶されれば構わない。

【0053】次に別の画像情報への埋め込み形式について図3を用いて説明する。図3は関連情報を埋め込んだ画像情報の別のフォーマットを例示した図である。

【0054】ここで、画像情報はGIFフォーマットの画像を例にとっている。この例においても、フォーマットについてはGIF形式をとらずとも、JPG形式やPCX形式などを探って構わない。

【0055】開始部301は、上記と同じく、本情報がGIF形式の画像情報であることを識別するために設けられたフィールドであり、'GIF'なる文字列ならびにそのバージョンが割り当てられたものである。

【0056】配色表式画像データ303は、画素は、左から右、上から下の順序で配列された画像データを配置するところであるが、ここでは画像情報307と関連情報308と期限情報309をウォーターマークの形式で混在させることにより、視覚上関連情報がそのまま視認できないようにするとともに、画像情報はそのまま視認できるようなのとなるように混合310されるようになっている。ここで、このようにして混合310された情報は、可変長符号のZWアルゴリズムを使って符号化される。

【0057】期限情報309は、図2に示す矢印形態と同様に、この情報画像の有効期限を規定する情報であり、期限経過後には、情報画像の操作を不許可とし、あるいは情報画像の操作ログの管理サーバへの報告を無効とし、あるいは期限経過後にはじめてある所定の操作が可能になるように規定したりすることが可能である。

【0058】注釈拡張部305は、GIFデータストリーム中のグラフィック情報とはならない文章情報を含んでいる。本例では特に必要としないフィールドであるが、必要となれば、自由な定義で情報提供者が利用することが可能である。

【0059】終了部306は、このデータ・ストリームが終了したことを示し、他のパラメータ情報などがこの後に続くことを意味するようになっている。

【0060】この画像例においてすべてGIFフォー

マットで行ったが、他のフォーマット形式の画像形式であっても、このように画像情報と分離された領域に記録されれば構わない。

【0061】(3. サーバとクライアント間における情報画像の利用関係) 次に本実施の形態にかかる情報画像利用システムにおいて、情報画像を利用するためのインフラストラクチャとして機能するサーバ(情報公開サーバ、管理サーバ)とクライアント(情報端末装置)の関係について、図4を用いて説明する。

【0062】サーバ401は、情報表示装置として機能するクライアント403の情報画像取得要求に応じて対応する画像情報を提供するコンピュータなどの装置である。サーバ401は、例えば登録された情報画像が閲覧可能なサイトであり、ネットワークを介して当該サイトにアクセスしてきた端末に当該情報画像その他の情報の提供を行うように作用するものであり、図1に示す情報画像利用システム100における情報公開サーバ114に該当するものである。

【0063】クライアント403は、前記サーバ401にネットワークを介して接続される情報表示装置、あるいは情報端末装置、あるいは単に端末と称されるものであって、少なくとも後述する情報画像処理手段を組み込んで情報画像を表示し操作することができる機能を有するものである。より具体的に、クライアント403は、例えば、その内部に、それぞれ別の機能を有する第1管理領域404と、第2管理領域405の動作をさせることができるようになっている。なお、クライアント403は、図1に示す情報画像利用システム100におけるクライアント20(120-1〜120-n)に相当するものである。

【0064】第1管理領域404は、サーバ401から取得した画像を表示することになっており、後述のグラフィックイメージでいえば、情報提供ウィンドウ502、605、ならびに情報提供フレーム803に該当する。

【0065】第2管理領域405は、後述する情報画像処理装置を組み込むことにより表示されるもので、第1管理領域404において、特定の画像が指定されたときに、その内容を登録するとともに、その内容を表示し、端末の操作者が指示しない操作手段によって、ここに表示される画像を特定したときには、この操作に基づいて少なくともひとつの関連情報を表示し、その情報に基づく何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択しその情報に基づく何らかの処理を起動させる制御をするようになっている。後述のグラフィックイメージでいえば、ワンタッチウィンドウ504、605、ならびにワンタッチフレーム802に該当する。

【0066】サーバ402は、クライアント403にネットワークを介して接続され、第2管理領域405の制御のもと、情報画像処理装置を提供したり、クライアン

ト403から提供されたユーザ情報を登録し管理したり、さらには、誤金処理を行ったりするコンピュータなどの情報処理装置である。したがって、サーバ402は、図1に示す情報画像利用システム100における情報画像管理サーバ116に該当する。

【0067】なお、ここでサーバ401と、サーバ402はそれぞれ別のものであって記載しているが、同一の情報の性質またはサーバの機能仕様に従って、同一のものとすることもできることは言うまでもない。

【0068】なおクライアント403における第2管理領域405、ならびに第1管理領域404についてはそれぞれプログラムによって制御がされることになる。すなわち、第2管理領域405において表示されている画像情報に関する情報画像のうち、これに内包される関連情報は、第2管理領域405を制御する情報画像処理装置を構成するプログラムによって制御され、操作者が指定した関連情報に対応する動作を実行できるようになっている。

【0069】後述するように、第1管理領域404と第2管理領域405との間で関連情報等の通信を行うことになる。一般にプロセス間、スレッド間の通信について、その実現手法はさまざまなものを選択することができる。例えば、2つの領域を創設する制御部が共通のメモリ空間を利用して通信をすることができ、また、新たな別のプロセスを作成し、このプロセスとの間で通信をすることによって、第1管理領域404と第2管理領域405との間のデータ通信を行うことも可能である。

【0070】特に、OSとしてマイクロソフト社のWindowsを使っている場合であって、第1管理領域の制御にインターネットエクスプローラを利用した場合には、COM(コンポーネントオブジェクトモデル)を利用すると簡単である。COMを使っている通信については、特開2000-083291に詳細が記載されている。

【0071】(4. 情報画像処理装置の表示例) 次に、本実施の形態にかかるクライアント(情報端末装置)に情報画像処理装置を組み込むことにより表示されるグラフィックイメージの例について図5〜図8を用いて説明する。

【0072】(4.1. コンピュータに好適なグラフィックイメージ) まず、情報端末装置としてWindows(登録商標) 9x、Windows NT(登録商標)、Windows 2000、Linuxなど、グラフィック表示が可能なOSをサポートしたコンピュータを使用した場合には、図5に示すようなバックグラウンドフィードを撮ることが好適なので、これを説明する。

【0073】表示画面501は、例えばブラザー管表示面やTFT液晶画面や人体に装着する眼鏡に組み込んだ表示装置における画面等であって、情報端末装置からの



情報を人間が視覚的に把握できるように作用する。なお、この画面上、表示画面501の境界部分がその表示デバイスの筐体枠となっているが、表示デバイスの中に当該枠を表示して実施しても構わない。

【0074】ワンタッチウインドウ504は、情報端末装置に組み込まれた情報画像処理装置の管理の下に、少なくとも画像（若しくは写真などの画像情報、以下同じ）505、506を表示するウインドウである。ワンタッチウインドウ504は、本情報端末装置の操作者が図示しない操作手段によって、画像505を指定したとき

には、少なくとも、その関連情報を表示し、その情報に基づき何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択しその情報に基づき何らかの処理を起動させることができるようになっている。【0075】すなわち、表示画面501上で、このワンタッチウインドウ504は、画像505、506を手掛かりとして特定の動作をガイドさせるための特別の管理領域（すなわち、図4に示す第2の管理領域405に該当する。）として作用しており、この領域内に表示されている画像を手掛かりとして、端末の操作者は新たな操作を実現できるようにしている。ここで操作手段としてマウスが備わっている場合には、マウスの右クリックをすることにより、ポップアップメニューを出現させ、ここに関連情報を表示するとともに、左クリックで複数ある関連情報のうちのひとつを特定させるなどするのが好ましい。

【0076】情報提供ウインドウ502は、少なくともとも画像503等を表示するフレームであって、本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、このフレーム内に表示される画像を特定したときには、この操作に基づいて新たな画像がワンタッチウインドウ504に追加登録されるようになっている。

【0077】なお、このときワンタッチウインドウ504に追加される画像は、特定され情報提供ウインドウ502内に表示されていた画像をそのまま表示してもよく、また必要に応じて他の画像に換えても構わない。情報提供ウインドウ502には、画像の他、文字情報507、有効期限情報509などを表示するようにしてもよい。

【0078】すなわち、表示画面501上で、この情報提供ウインドウ502は、画像等を表示して端末の操作者に興味を持たせるとともに、端末の操作者が画像を特定する操作をすることによって上記ワンタッチウインドウ504への登録に導く管理領域として作用している。

【0079】なお、表示操作端末の操作者による特定操作について、マウスなどのポインティングデバイスが操作手段に備わっているときには、ポインタを登録したい画像を指定し、これをワンタッチフレーム502上に移動させてここに落とすという、図中矢印508で模式的に示すような、所謂ドラッグアンドドロップというユー

ザインタフェース技法を使っても構わない。

【0080】このユーザインタフェースを使うと、例えば情報提供ウインドウ502として、インターネットエクスプローラやネットスケープナビゲータなどのブラウザソフトを使った場合には有利である。

【0081】（4.2.コンピュータに好適な別のグラフィックイメージ例）また、別のインタフェース例として図6および図7に示すようなウインドウを例ひることができる。

【0082】表示画面601は、例えばブラウ管表示画面、TFT液晶画面、人体に装着する眼鏡に組み込んだ表示装置における画面等、表示装置からの情報を人間が視覚的に把握できるように作用する。

【0083】情報表示登録ウインドウ602は、操作者に、情報提供者から得られる画像の表示並びに登録の操作を行わせるインタフェースとして機能するようにしている。

【0084】情報提供タブ603は、情報表示登録ウインドウ602の領域内に設けられた管理領域を選択するインタフェース要素であって、これがアクティブになったときには情報提供者から送付されてきた画像609を第1管理領域605に表示できるようにしている。そして、本情報端末装置の操作者が図示しない操作手段によって、ここに表示される画像608を、ワンタッチタブ604がアクティブになったときに表示される第2管理領域606に追加されるようになっている。なお、第1管理領域605には、画像609の他、文字情報610、有効期限情報611などを表示するようにしてもよい。

【0085】ワンタッチタブ604は、情報表示登録ウインドウ602の領域内に設けられた管理領域を選択するインタフェース要素であって、これをアクティブにしたときに第2管理領域606を表示させ、第1管理領域605で登録を指示された画像609について、これに係る新たな画像608をその第2管理領域606に表示できるようにしている。そして、本情報端末装置の操作者が図示しない操作手段によって、ここに表示される画像を特定したときには、この操作に基づいて少なくともひとつの関連情報を表示し、その情報に基づき何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択しその情報に基づき何らかの処理を起動させることができるようになっている。

【0086】すなわち、情報表示登録ウインドウ602上で、この第2管理領域606は、画像607、608を手掛かりとして特定の動作をガイドさせるための管理領域として作用しており、この領域内に表示されている画像を手掛かりにして、端末の操作者は新たな操作を実現できるようにしている。また第2管理領域606には、画像607、608にそれぞれ係る有効期限情報61

2, 613を表示することが可能である。

【0087】このユーザインタフェースを使うと、表示画面601の面積が小さかったり、画面の解像度が低い場合に、情報表示登録操作を少ない表示領域で完結させることができ、有利である。

【0088】(4.3. デジタルテレビやPDAに好適な別のグラフィックイメージ例) 次に、本発明をデジタルテレビやPDA(Personal Data Assistance)などの携帯端末に対して実施する場合には、図8に示すようなロックアンドフィールドを係る  
10 ことが好適なので、これを説明する。

【0089】表示画面801は、例えばブラウン管表示面、TFT被膜画面、人体に装着する眼鏡に組み込んだ表示装置における画面等、表示装置からの情報を人間が視覚的に把握できるように作用する。なお、この画面  
上、表示画面801の境界部分がその表示デバイスの最外枠となっているが、表示デバイスの中に当該枠を表示して実施しても構わない。

【0090】ワンタッチフレーム802は、上記ワンタッチウィンドウと同じ機能するものであり、少なく  
20 とも画像(絵文字等)は写真などの画像情報、以下同じ)808を表示するフレームであって、本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、画像808を指定したときには、少なくともひとつの関連情報を表示し、その情報に基づき何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択しその情報に基づき何らかの処理を起動させることができるようになっている。なお、ワンタッチフレーム802には、画像808に係る有効期限809もあわせて表示させることが可能である。

【0091】すなわち、表示画面801上で、このワン  
30 タッチフレーム802は、画像808を手掛かりとして特定の動作をガイドさせるための特別の管理領域として作用しており、この領域内に表示されている画像を手掛かりにして、端末の操作者は新たな操作を実現できるようにになっている。

【0092】情報提供フレーム803は、上記情報提供ウィンドウと同じ機能するものであり、少なくともも  
40 画像805, 806等を表示するフレームであって、本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、このフレーム内に表示される画像を特定したときには、この操作に基づいて新たな画像がワンタッチフレーム802に追加されるようになっている。

【0093】なお、このとき追加される画像は、特定された情報提供フレーム803内に表示されていた画像をそのまま表示してもよく、また必要に応じて他の画像に換えても構わない。情報提供フレーム803には、画像805, 806の他、文字情報807、画像805, 808にそれぞれ対応する有効期限810, 811などを表示するようにしてもよい。

【0094】すなわち、表示画面801上で、この情報提供フレーム803は、画像等を表示して端末の操作者に興味を持たせるとともに、端末の操作者が画像を特定する操作をすることで上記ワンタッチフレーム802への登録に導くという特別の管理領域として作用している。

【0095】なお、表示操作端末の操作者による特定操作並に第2管理領域802への登録について、マウスなどのポインティングデバイスが操作手段に備わっているときには、ポインティングデバイスが指定した、これをワンタッチフレーム802上に移動させて落すという、所謂ドラッグアンドドロップというユーザインタフェース技法を使っても構わない。

【0096】コンテンツ表示画面804は、例えば、デジタル放送における映画など、コンテンツを表示するフレームであり、端末の操作者が得たい情報を表示するために利用する領域である。なお、このコンテンツは動画などに限らず、静止画、文字放送の情報など、人間の視覚を刺激して伝達する一切の情報を含むものである。

【0097】(5. クライアントの構成および動作) 次に図9を参照しながら本実施の形態にかかるクライアントの構成および動作について説明する。画像表示部901は、たとえばマイクロソフト社製インターネットエクスプローラであって、操作者より特定サーバの情報のダウンロード指示があったときには、その指示に基づいてサーバ910にネットワークを介して論理接続し、その情報を取得し、第1管理領域に表示するようになっている。

【0098】また、第2管理領域は、たとえば、記録情報取得部904、情報画像記録部905、関連情報取得部906、画像表示構成部907、画像特定部908、期限情報取得部909、動作決定部910などを構成して実施することができる。

【0099】通信COM902は、OSの機能であるコンポーネントオブジェクトモデル(Component Object Model)を利用したプロセス(もしくはスレッド、以下同じ)間の通信実現手段であって、たとえばドラッグアンドドロップなどのユーザインタフェース操作があった場合に、ドラッグされたプロセスからドロップされたプロセスへの情報の伝送を実現するようになっている。

【0100】記録情報取得部904は、ネットワークに接続され、サーバ910から情報画像を受け取り、次次の情報画像記録部905に伝送するようになっている。

【0101】情報画像記録部905は、通信COM902もしくは記録情報取得部904から通知されてきたものであって、画像情報と関連情報がひとつの扱いやすい単位としてまとめられている情報画像を記録するようになる。なおここで、情報画像として記録するのでなく、画像情報と関連情報をそれぞれ関連を持たせたま

ま別のメモリに記録させるなどしても構わない。情報画像記録部905はまた、第1管理領域から第2管理領域へのドラッグアンドドロップ操作などにより情報画像の登録動作があったときには、関連情報取得部906を介して、特定のサーバに情報画像が第2管理領域へ登録された旨の通知をするようにになっている。

【0102】関連情報取得部906は、情報画像記録部905に接続され、情報画像記録部905に記録された情報画像から、関連情報の部分のみを取得するようになっている。また期限情報取得部909も、情報画像記録部905に接続され、情報画像記録部905に記録された情報画像から、期限情報の部分のみを取得するようになっている。

【0103】画像表示構成部907は、情報画像記録部905に接続され、第2管理領域からの表示として、情報画像記録部905に記録されている情報画像をすべてもしくは選択して表示するようになっている。即ち、前記ワンタッチ・フレーム(ワンタッチ・ウィンドウ)を通して操作者が情報画像に係る画像を任意できるようにする。

【0104】画像特定部908は、OSインタフェース903の機能により、第2管理領域において表示されている画像を操作者が特定した場合、その画像に対応する情報画像が特定されるようになっている。

【0105】動作決定部910は、画像特定部908と関連情報取得部906と期限情報取得部909に接続され、操作者による特定を受けた情報画像の中の関連情報に基づいて動作を実行するようになっている。例えば、期限情報取得部909において取得された期限情報により、当該情報画像が期限切れであると判断された場合には、後述するように、期限情報に書き込まれた所定の動作を行う。

【0106】次に、上記のように構成されたクライアントの動作について説明する。まず、クライアントの操作者は、所定の情報公開サーバ(情報画像提供サーバ)911から所望の情報画像を取得し画像表示部901に表示させることになる。この時、画像表示部901にインターネットエクスプローラを使っている場合には、httpプロトコルによってアクションサイトのWEBページを表示するという動作を行うことになる。

【0107】そして、クライアントの操作者が、表示された画像を見るときにより、情報の取得を希望した情報画像を特定すると、この情報画像をドラッグアンドドロップなどのインタフェース操作によって第2管理領域に移す操作を行う。この時、ドラッグアンドドロップされる画像は情報画像であるので、通常COM902を通じて情報画像記録部905に記録されることになる。この時併せて、関連情報取得部906および期限情報取得部909の作用により、動作決定部910を通じて、情報画像公開サーバ911および/または管理サーバ912

にその情報画像を第2管理領域に登録した旨を通知することになる。

【0108】ここで、期限情報取得部909が、クライアントの操作者が指定した情報画像の有効期限が切れていると判断した場合には、その旨を動作決定部910に通知する。ある実施の形態によれば、有効期限が切れている場合には、動作決定部910は、情報画像公開サーバ911および/または管理サーバ912に対して、情報画像の操作ログを通知しない。またある実施の形態によれば、有効期限が切れている場合には、動作決定部910は、情報画像自体の操作を禁止する。上記例は、期限情報に有効期限の終期が記述されている場合であるが、これとは逆に、期限情報に有効期限の始期を記述するように構成することも可能である。かかる場合には、例えば期限情報取得部909により判断された有効期限以後には、はじめて情報画像の特定の操作を許可するように構成することももちろん可能である。

【0109】一方、第2管理領域に係る情報画像記録部905において記録された情報画像は、画像表示構成部907の作用によって、OSインタフェース903を介してクライアントの操作者にその表示がされることになる。そして、入力クライアントの操作者は、その表示された情報画像に登録された関連情報に基づいて、動作を行うと、画像特定部908ならびに動作決定部909の作用によって、その関連情報に記述された動作を行うことになる。

【0110】(6. 情報画像生成サーバ)による期限情報の記述例) 次に、図10を参照しながら、情報画像生成サーバにおける期限情報の記述例を示す。グラフィカルインタフェースに手を加えて、ウィンドウなどの画面1000上で容易に情報画像の作成を可能にした例である。情報画像は、基本的には画像情報と関連情報とを合成してなるものなので、情報画像製作者は、画像ファイル指定フレーム1010において、画像情報を指定するとともに、関連情報記述フレーム1020において、関連情報を記述する。

【0111】関連情報記述フレーム1020においては、クライアントにおいて操作者が情報画像を操作した場合には順次行われる動作が記述される。図示の例は、あるゲームソフトの広告画面であるが、まずホームページがブラウザ表示され(1022)、次いでデモ映像が再生され(1024)、次いでストーリーがテロップ表示され(1026)、さらにテーマ曲が再生され(1028)のように、関連情報の記述が行われる。

【0112】さらに、本実施の形態によれば、期限情報記述フレーム1030において、期限情報に関する記述を行うことが可能である。図示の例では、期限は2段階的に設定しており、まず第1の期限においては、情報画像の操作ログを管理サーバに通知しないように設定され(1032)、第2の期限においては、情報画像自体の

操作が禁止される(1034)。ここで記述される期限情報は、各種に設定することが可能であり、図示の例では、有効期限の終期に関する記述を行ったが、逆に有効期限の始期に関する記述をここで行ってよいことはいうまでもない。

【0113】さらに、期限がきたものについて、テロップを表示したい場合には、テロップ表示フレーム1036において、クライアントの画面上に表示せたいテロップ文字を記述することが可能である。

【0114】以上説明した各フレームにおいて、情報画像作成者が意図した情報画像の作成が完了した場合には登録ボタン1040を押すことにより、画像情報と関連情報と期限情報が合成されて、情報画像が生成される。生成された情報画像は必要に応じて不表示の情報画像公開サーバの所定欄所に登録される。これに対して、修正等を行いたい場合には、リセットボタン1042を押すことにより、画面1000において記述された内容がリセットされる。

【0115】なお、図10に示した例では、情報画像に対してする期限情報の付加が、情報画像生成サーバにおいて行われているが、本発明はかかる例に限定されない。例えば、情報画像公開サーバ(情報画像提供サーバ)において、クライアントに対して情報画像を送送する際に、期限情報を付加する構成であっても構わないことはいうまでもない。

【0116】(7. 期限情報の動作例) 次に図11および図12を参照しながら、クライアントにおける期限情報の動作例について説明する。

【0117】まず図11に示す例は、期限情報に基づいてクライアントからの管理サーバへの操作ログの通知を禁止して、管理サーバに対するトラフィックを緩和する構成である。まず、クライアントの情報画像処理装置は、クライアントにおいて情報画像の操作があったかどうかを判定する(1101)。情報画像の操作があった場合には、期限情報が確認される(1102)。期限情報を確認した結果、操作された情報画像が有効期限内のものであれば、関連情報に記述されている所定の動作を行い(1103)、操作ログが管理サーバに通告される(1104)。これに対して、操作された情報画像が有効期限を過ぎたものである場合には、操作者の注意を喚起するためのテロップをクライアントの画面上に表示し(1105)、その後に関連情報に記述されている所定の動作を行う(1106)。ただし、操作された情報画像は有効期限を過ぎたものなので、操作ログは管理サーバに通告されない(1107)。

【0118】次に図12に示す例は、期限情報に基づいてクライアントからの管理サーバへの操作ログの通知を禁止するのみならず、クライアントにおける情報画像の操作自体を禁止する構成である。まず、クライアントの情報画像処理装置は、クライアントにおいて情報画像の

操作があったかどうかを判定する(1201)。情報画像の操作があった場合には、期限情報が確認される(1202)。期限情報を確認した結果、操作された情報画像が有効期限内のものであれば、関連情報に記述されている所定の動作を行い(1203)、操作ログが管理サーバに通告される(1204)。これに対して、操作された情報画像が有効期限を過ぎたものである場合には、操作者の注意を喚起するためのテロップをクライアントの画面上に表示し(1205)、さらに関連情報に記述されている所定の動作を禁止する(1206)。そして、操作された情報画像は有効期限を過ぎたものなので、操作ログは管理サーバに通告されない(1207)。

【0119】(8. 期限情報を用いた課金システム例) 以上のように本実施の形態にかかる期限情報を用いると課金システムを最適化することができる。例えば、情報画像を情報画像公開サーバに登録してユーザを誘導の情報を誘導しようと考えている情報提供者に対して課金を行う場合を例に挙げてみる。課金システムをクライアントの情報画像に対するクリック数に応じた従量制に設定した場合には、情報画像が古くなり、マーケティングに対して有効に作用しない場合にも、情報提供者に対して課金が行われてしまう。しかし、本実施の形態にかかる期限情報を用いれば、有効期限を過ぎて古くなった情報画像に基づいた課金を排除することが可能となるので、情報提供者はストレスなしに課金を受け入れることができる。

【0120】また、期限情報を利用すれば、特定の期間に限った情報画像の操作に対して課金を行うシステムを構築することが可能であり、例えば、百貨店などのお中元やお歳暮などの期間限定商品を情報画像で展覧する場合などに特に有効な課金システムを構築することができる。

【0121】この他にも、ビジネスモデルに応じて各種の課金処理を想定することが可能であるが、期限情報を利用して課金処理を行う構成を採用する以上、いかなるビジネスモデルを採用するにせよ、本発明の技術的範囲に属するものと了解される。

【0122】(9. プログラムの流通) 以上の実施形態において実現されるサーバやクライアント(情報端末装置等を含む)の機能は、すべてソフトウェアによって実装することが可能である。このため、必要なソフトウェアは、プログラムを記録したCD-ROM、DVD-ROMなどの記録媒体によって、流通させることが可能である。

【0123】以上、添付図面を参照しながら本実施の形態にかかる情報画像利用システム等の好適な実施形態について説明したが、本発明はかかる例に限定されない。当業者であれば、特許請求の範囲に記述された技術的思想の範囲内において各種の変更または修正例に想到し

得ることは明らかであり、それらについても当然に本発明の技術的範囲に属するものと了解される。

【 0124 】

【 発明の効果 】 以上説明したように、本発明によれば、期限情報に基づいてクライアント側の情報画像の操作を制御することが可能なので、情報画像に付随する情報が古くなったような場合などに、古い情報画像に基づいてクライアントが情報提供者の意図に反した情報に誘導されるような問題を解消できる。

【 0125 】 また、例えば、期間限定の情報画像を利用するシステムのような場合など、有効期限が切れた情報画像の操作ログが管理サーバに大量に通知されて、管理サーバにおけるトラフィックが渋滞するような事態を回避することが可能である。

【 図面の簡単な説明 】

【 図1 】 本願発明の実施の一形態にかかる情報画像利用システムの概略的なシステム構成図である。

【 図2 】 本願発明の実施の一形態にかかる情報画像の権限を示す構成図である。

【 図3 】 本願発明の実施の一形態にかかる情報画像の権限を示す別の構成図である。

【 図4 】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントにおいて実現される管理領域の概略的な説明図である

【 図5 】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントにおいて実現される第1管理領域から第2管理領域への情報画像の登録を行うためのドラッグアンドドロップ操作の一例を示す説明図である。

【 図6 】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントにおいて実現される第1管理領域から第2管理領域への情報画像の登録を行うための他の例を示す説明図である。

【 図7 】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントにおいて実現される第1管理領域から第2管理領域への情報画像の登録を行うためのさらに他の例を示す説明図である。

【 図8 】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントにおいて実現される第1管理領域から第2管理領域への情報画像の登録を行うためのさらに他の例を示す説明図である。

【 図9 】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントの構成を示すシステム構成図である。

【 図10 】 本願発明の実施の一形態にかかる情報画像生成装置の入力画面の一例を示す説明図である。

【 図11 】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントの動作に関するフローチャートである。

【 図12 】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントの動作に関するフローチャートである。

【 符号の説明 】

100 情報画像利用システム

112 情報画像生成サーバ

114 情報画像提供サーバ

116 情報画像管理サーバ

120 クライアント

121 管理領域

122 第2管理領域

123 第1管理領域

124 第2管理領域

125 第3管理領域

126 第4管理領域

127 第5管理領域

128 第6管理領域

129 第7管理領域

130 第8管理領域

131 第9管理領域

132 第10管理領域

133 第11管理領域

134 第12管理領域

135 第13管理領域

136 第14管理領域

137 第15管理領域

138 第16管理領域

139 第17管理領域

140 第18管理領域

141 第19管理領域

142 第20管理領域

143 第21管理領域

144 第22管理領域

145 第23管理領域

146 第24管理領域

147 第25管理領域

148 第26管理領域

149 第27管理領域

150 第28管理領域

151 第29管理領域

152 第30管理領域

153 第31管理領域

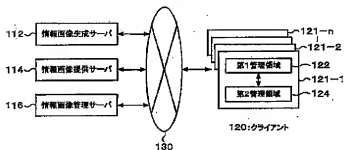
154 第32管理領域

155 第33管理領域

156 第34管理領域

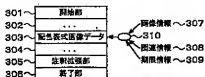
【 図1 】

100: 情報画像利用システム



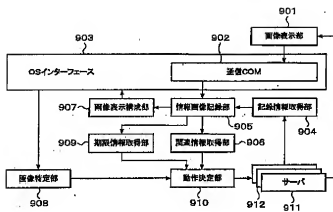
【 図3 】

情報画像への登録権限の一例

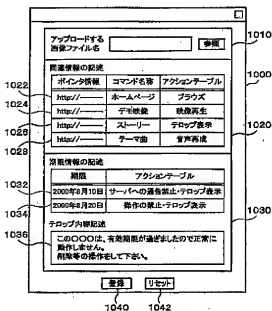




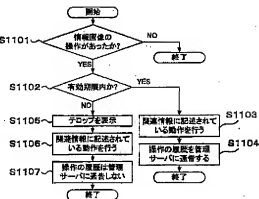
【 図9 】



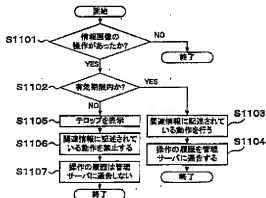
【 図10 】



【 図11 】



【 図12 】



フロントページの続き

Fターム(参考) SB050 CA01 FA02 FA13 FA19 GA08  
SB075 KK07 KK13 KK33 ND03 ND05  
RQ02 RQ29 RQ32 RQ46 RP05  
UU40  
SB082 EA10 GC05  
SC064 EA01 BC06 BC18 BC23 BD09  
HE14